

東京都立松が谷高等学校 平成31年度年間授業計画

教科:(地理歴史)科目:(世界史A) 対象:(第1学年1組~8組)

使用教科書:東京書籍「世界史A」

使用教材:帝国書院「最新世界史図説タペストリー 十七訂版」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	学習時数
4月	ユーラシアの諸地域世界 西アジア世界	西アジアとそれにつながる地域のそれぞれの地理・歴史の概略をつかみ、今後の世界史学習の基礎が定着するようにできる。	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	4
	ユーラシアの諸地域世界 ヨーロッパ世界	ヨーロッパとそれにつながる地域のそれぞれの地理・歴史の概略をつかみ、今後の世界史学習の基礎が定着するようにできる。近現代世界を学習する前提として、特にキリスト教の歴史と中世封建社会について理解することができる。		2
5月	ユーラシアの諸地域世界 東アジア世界	東アジアでも、特に中国とそれにつながる地域のそれぞれの地理・歴史の概略をつかみ、今後の近現代の世界史学習の基礎が定着するようにできる。	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	2
	ユーラシアの諸地域世界 南アジア世界 東南アジア世界	南アジア、東南アジアとそれにつながる地域のそれぞれの地理・歴史の概略をつかみ、今後の世界史学習の基礎が定着するようにできる。		6
6月	ユーラシアの諸地域世界 ユーラシアの交流圏	ヨーロッパとそれにつながる地域の間に、相互の接触・交流の結果もたらされた多くの歴史的事例があることが理解できる。	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	4
	16世紀のヨーロッパ	ルネサンスと大航海時代、宗教改革についての各要因、過程、結果について理解することができる。また相互の関係についても理解できる。大航海時代については、地図上で航路を確認できる。宗教改革は、対抗宗教改革の具体的な展開を理解することができる。		4
7月	中華帝国の繁栄と東アジア	明清時代の中国の繁栄、中国と日本、朝鮮を含めた東アジアとの関係を理解することができる。東アジア世界と西欧世界とのつながり、関係について理解できる。	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	4
8月				
9月	主権国家体制の形成	オランダの台頭、ヨーロッパ絶対王政の成立、アメリカでの英仏植民地争いについて理解することができる。	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	4
	産業革命と世界市場の形成	イギリスで最初に産業革命が起こった理由を理解することができる。産業革命の結果発生した労働問題や社会問題を理解することができる。		4
10月	ヨーロッパとアメリカの諸革命	13植民地の形成からアメリカ合衆国の成立に過程を、諸外国の動きを含めて理解することができる。フランス革命の勃発から進展の過程を、革命を主導した社会層の変化に着目しながら理解することができる。ナポレオンの国内政策と征服活動について理解することができる。 ラテンアメリカ諸国の独立の経過を理解することができる。	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	5
	ウィーン体制とその崩壊	ウィーン体制の成立から動揺・崩壊の過程を理解することができる。 1848年にヨーロッパ各地で起こった一連の革命・民族運動の経緯を理解することができる。		4
11月	国民国家への道	イタリアとドイツの統一運動の過程を理解するとともに、ビスマルク外交のねらいと内容を理解することができる。アメリカ合衆国の領土拡大の過程や南北戦争後の経済的発展について理解することができる。	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	4
	アジア諸国の変容	インド、アフリカ、西アジア、東南アジアへの欧米諸国の進出による、戦争、抵抗運動などを理解することができる。		4
12月	植民地の拡大によるアジア、アフリカの抵抗運動と深まる国家の対立	欧米諸国の支配が強まる中で起きた、辛亥革命、国民会議派の形成、ドンズー運動、青年トルコ革命、イラン立憲革命などの近代化を目指した運動の経緯を理解することができる。 欧米各国の帝国主義政策と国内政策を理解するとともに、欧米諸国間の世界分割競争の経緯と結果を理解することができる。	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	4
1月	第一次世界大戦とロシア革命	第一次世界大戦中の戦時外交、総力戦における統制経済について理解することができる。 ロシア革命の勃発と対ソ干渉戦争とソヴェト政権の経済政策について理解することができる。	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	4
	戦後秩序の形成	ヴェルサイユ体制・ワシントン体制下で進んだ国際協調の流れを理解することができる。 1920年代のアメリカ合衆国の「永遠の繁栄」と呼ばれた政治・経済の成熟を理解することができる。		4
2月	世界恐慌とファシズム	世界恐慌による各国の経済的な打撃を具体的な指標から理解するとともに、アメリカ合衆国のニューディール政策の進展について理解することができる。 ナチス・ドイツが独裁権を確立していった過程およびイタリアでムッソリーニが一党独裁体制を確立していった過程を理解することができる。	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	4
	第二次世界大戦	スペイン内戦から第二次世界大戦勃発前までのヨーロッパの国際情勢について理解することができる。欧州でのドイツ、アジア・太平洋地域における日本の勢力拡大を地図上で理解することができる。第二次世界大戦中に行われた首脳会談の内容について理解することができる。		3
3月	戦後世界の形成と冷戦体制の動揺	国連の役割、国際的な経済・金融の協力体制について理解することができる。ドイツの東西分断、中華人民共和国の成立、ベトナム情勢、朝鮮戦争などから冷戦体制が世界化していく過程を理解することができる。キューバ危機を契機に米ソの緊張緩和の方向が現れ、核兵器の拡大を制限する交渉が始まったことを理解することができる。	定期考査 教材に関わる提出物 授業態度 ノート提出	3